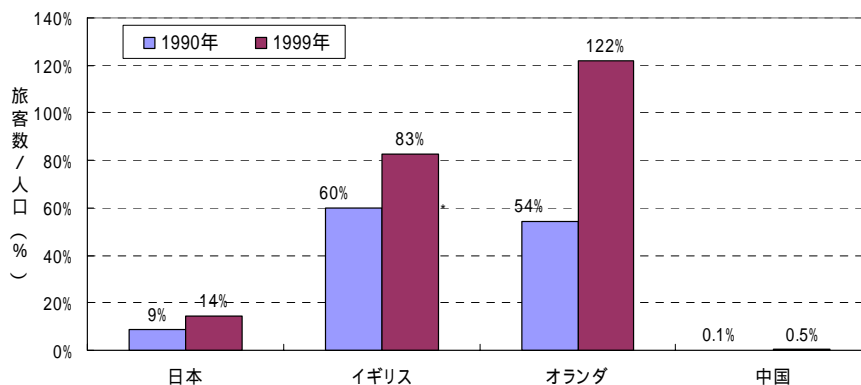


Q11. 今後、福岡はアジア地域との交流の拡大、特に中国との交流は大幅な増加が見込まれると思いますが、このことについてはどのように考えているのですか。

A11. 近年、経済発展が著しい中国ですが、国際航空旅客数は他国と比べてそれほど多くありません。中国の人口当たりの国際定期航空旅客数を見てみると欧州の国と比べて少なく、今後、航空旅客数増加の余地を残していると思われます。

図表 国際定期航空旅客数・人口比国別比較（1990年・1999年）



	人口(万人)		国際定期航空旅客数(万人)		旅客/人口	
	1990年	1999年	1990年	1999年	1990年	1999年
日本	12,348	12,663	1,113	1,806	9%	14%
イギリス	5,756	5,950	3,438	4,919	60%	83%
オランダ	1,495	1,581	813	1,931	54%	122%
中国	115,531	125,909	114	601	0.1%	0.5%

資料：旅客数 「航空統計要覧 2005年版」(日本航空協会)

人口 「United Nations Demographic Yearbook」(国際連合)

今回の国際旅客の需要予測は、既存路線による2004年度までの旅客実績を基に世界を20地域に分割し(中国については香港とそれ以外)地域別の将来需要を推計していますが、これはアジア各国からの訪日の際に制約となっていた査証(ビザ)の発給条件が近年緩和の方向にあることについて直接的には反映されていませんので、今後の制約の緩和次第では一層の訪日外国人旅行者の増加が見込まれます。

このようなこともあり、特に中国については国土が広大で今後日本との人的交流の拡大が見込まれることから、参考として福岡空港と路線が結ばれていない中国の主要12都市を対象に経済規模及び距離(所要時間)を説明変数とする簡易なグラビティモデルを用いて将来需要を試算してみました。この試算によれば、2022年には福岡から各都市に路線就航の可能性が見込まれる結果となりました。

なお、平成18年7月には国土交通大臣と中国民用航空総局長との会談で旅客輸送力2割増等の両国の航空関係の大幅拡大に関して最終合意がなされるなど、今後とも中国をはじめアジアの動向については福岡空港の実際の利用状況とあわせて注目していく必要があると考えています。

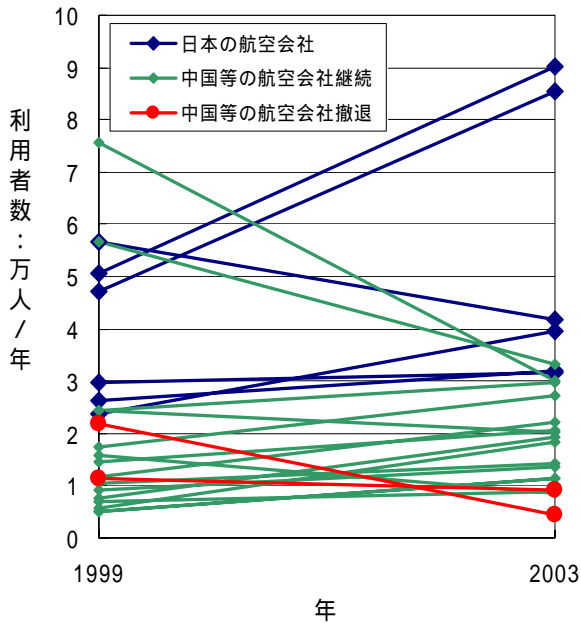
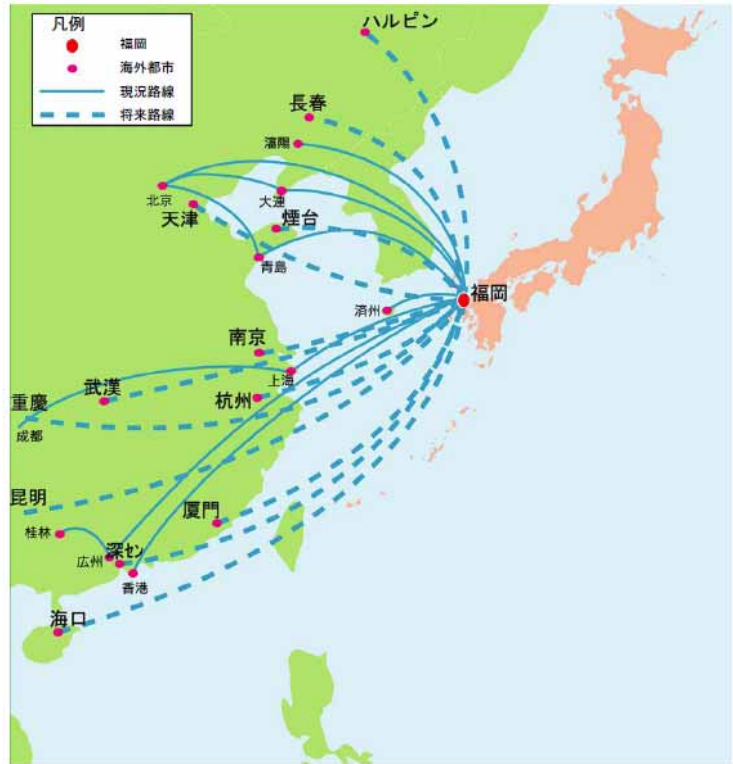
図表 福岡空港新規中国路線 旅客数試算結果

(万人/年)

福岡空港 ・中国路線		旅客数	
		2012年	2022年
就航検討路線	南京	7.2	11.0
	杭州	6.3	9.7
	煙台	4.6	7.1
	深せん	4.3	6.5
	厦門	4.2	6.4
	武漢	4.1	6.3
	ハルビン	3.9	6.0
	長春	3.1	4.7
	天津	3.0	4.6
	海口	(2.5)	3.8
	昆明	(2.3)	3.5
	重慶	(2.3)	3.5

近年の国際線の旅客実績から3万人/年以上を路線成立ラインと想定。

( ) 書きは3万人/年未満の路線



資料：ICAO TRAFFIC BY FLIGHT STAGE

図 日本 中国等路線の運航状況

路線成立ラインについて

日本の地方空港と中国、韓国、台湾諸都市間の国際航空路線の運航状況を調べると、日本の航空会社の場合は概ね3万人/年以上で運航していますが中国等の航空会社の中には3万人/年を下回ると撤退している路線がみられます。なお、データの比較は最新年(2003年)と米国同時テロ以前で行いました。